

目 次

□巻頭言 偶 感……………浅井 新一郎/1  
 露天掘りにおける大形機械の稼働実績……………水本 洋/2  
 鳥形山石灰石鉱山

グラビヤ——鳥形山採石場における稼働機械

鴨川バイパス嶺岡トンネルの工事实績……………藤井 三郎/10  
 膨張性地山におけるメッセル工法

橋脚はり回転工法による  
 広島高架橋の施工概要……………川崎 迪一/18  
 小谷 正 雄

PC 橋工事の施工機械による省力化……………佐藤 浩一/24

雪寒地における  
 エアテントによる冬期工事の実験例……………赤津 武男/30

ロータリカッタによる  
 舗装はぎ取り工法の概要……………高野 光 漢/37  
 内藤 光 顕

□随 想 マダガスカルの旅……………八十島 義之助/42

温水循環ロードヒーティングの実用化試験……………奥田 光 男/46  
 田代 博

立軸小形ロータリ除雪装置の開発……………磯部 金治/51

パキスタン・タルベラダム工事における  
 大容量コンベヤの稼働状況……………永井 正義/57

鹿児島市祇園洲水搬送による埋立工事の概要……………丸野 昭/64

□建設機械化講座 第127回  
 現場フォアマンのための土木と施工法  
 XVII. 建設機械概説  
 12. エンジン(その3)……………東 孝行/69

□文献調査  
 岩石溶解法は地質探査機,  
 トンネル掘進機として有望である……………広報部会  
 文献調査委員会/73

理事会の開催……………/76

ニューズ……………(編集部)/76

行事一覧……………/78

編集後記……………(吉越・川上)/80

◀表紙写真説明▶

KB-40 RM

クボタ・アトラスショベル  
 久保田鉄工株式会社

地方開発が進むにつれてますます脚力のすぐれたショベルの必要性が認識されてきた。本機は、従来より脚力で定評のあるクボタ・アトラスショベルに脚力重点機種として加わったKB-40 RMである。走行速度は高低2段切換えとし、走行時の高速性、作業時のねばり強さを高め、登坂能力も58% (30度)と湿地での能力をアップし、さらにユーザの要望に答えるべく、特にオペレータの使いやすさを考えて、2本レバーのユニバーサル方式を継続採用するとともに、複合動作性能を向上させた。